



2015・10・1

第 217 号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

成果確認しつつ、廃止求める新たな運動に

戦争法強行後、全国の九条の会はこの暴挙に抗議すると共に、この間どのような運動をおこない、どのような成果をあげたかを振り返りながら、悪法の廃止をめざして新たな運動を開始しています。また、地方議会でも、反対の共同行動を展開した議員らによって、改めて戦争法の廃止を求める決議の採択や運動が始まっています。

安倍退陣、法廃止めざし出足早く

【静岡県沼津市 九条の会など】 戦争法を廃止するまで引き続きたたかおうと、静岡県沼津市で 20 日、市内九条の会などで構成する「戦争させない、憲法壊すな、沼津の会」の主催で集会とアピールパレードが行われ、180 人が参加しました。

集会では「強行採決されても戦争法は憲法違反。安倍内閣を退陣させ、戦争法を廃止させる」の決意をこめた抗議声明を全員の大きな拍手で採択しました。

共同代表の渡辺久丸・島根大学名誉教授は「安倍政権を続けさせるわけにはいかない。選挙で 18 歳の若者にも NO の意思を示してもらうためにも、頑張ってアピールしよう」と呼びかけました。

鶴見俊輔さんの志を受けついで

九条の会講演会

—今、立憲主義と 9 条の危機に立ち向う

◇と き 11 月 13 日 (金)

午後 6 時 30 分

◇ところ 東京千代田区 日本教育会館

◇お 話

よびかけ人 大江健三郎、澤地久枝

ゲスト

益川敏英さん (京都大学名誉教授) 他

◇参加費 前売 1200 円 当日 1500 円

市内繁華街を「安倍はやめろ」、「戦争法は今すぐ廃止」とコールして歩くと沿道の市民から手を振っての応援がありました。

初めて参加した女性(27)は、「戦争は普通の生活ができなくなる。恐怖で心がふるえている。このままではいけない」。元気よくコールしていた女性(72)は「強行採決が本当にくやしい。今日をスタートに改めて声をあげていきたい」と述べました。

沿道で声援を送った女性(70)は、「米軍には基地もお金も提供してきたからもう十分。憲法 9 条を守って戦争をしないでほしい」と話していました。

【埼玉県 九条の会など】 9月22日、国会へ怒りの声を届けようと、戦争法の廃止を求める集会在久喜市で開かれました。主催は加須、久喜、幸手、白岡、蓮田の各市と杉戸、宮代の両町の九条の会がよびかけた実行委員会で、430人が参加しました。

会場の久喜総合文化会館小ホールには開場前から参加者が詰めかけ、集会が始まるとロビーのモニターには会場に入りきれなかった参加者の人だかりができました。

参加者からは、国民の声に耳を傾けようともせず、戦争法の成立を強行した安倍政権や自民・公明の両党に対する怒りと抗議の声が相次ぎました。

医療制度研究会副理事長の本田宏医師が「医療崩壊と戦争法の切っても切れない関係」と題して講演。

集会后、参加者は会場前から久喜駅までパレード。沿道の商店から出てきて手を振る人などがいました。

【東京都練馬区 九条の会】戦争法を廃止して安倍政権の暴走を止めようと9月27日、東京都練馬区内の8つの九条の会が集まり、「9・27 平和パレード」を行いました。

100人を超える市民が「戦争法はただちに廃止」「9条守れ、憲法壊すな」と唱和し、約1.5キロをにぎやかに歩きました。

「何かしなくてはと初めて参加した」という林しほみさん(50)は、母親の玲子さん(85)と歩きました。高校生と大学生の子どもを持つしほみさんは「絶対に子どもたちを戦争に行かせたくない。母たちが守ってきた平和を壊したくない」。玲子さんも「娘たちの世代に平和を受け継がなくてはいけない」と力をこめて話しました。

「女たちは平和を希みます」と書いたボードを持っていた遠藤悦子さん(62)は、「日本が70年間戦争しなかったのは9条のおかげ。国民の声を無視し、政府が勝手に解釈をねじ曲げるのは許せない」。

商店街を通るパレードをじっと見つめていた男性(95)は「戦時中、軍需工場できつい作業をさせられた。戦争は絶対にしてはいけない」と語りました。

「安倍首相は独裁者」の声も

【福島県 九条の会】福島県九条の会は、9月19日安倍政権による戦争法の強行採決に抗議する緊急の宣伝行動を行い、JR福島駅前で行い40人が参加しました。

参加者は、「強行採決、断固抗議！ 憲法と民主主義を守るたたかいは終わらない」との横断幕を広げ、一人ひとりがいっせいに「安倍政治を許さない」のポスターを掲げました。九条の会の吉原泰助代表・元福島大学長が「今後、憲法9条がいっそう大事になる。9条を守り、安倍政権を倒すためがんばろう」と訴えました。

【宮城県 九条の会連絡会】宮城県九条の会連絡会は9月24日、仙台市内で戦争法廃止を訴える宣伝行動をしました。

ビラを読んだ50代の女性は「憲法違反だし廃止すべきです。安全な国ランキングをテレビで見たが、危険な国といっしょに行動したら危険が増す」と語りました。自分からビラを受け取りにきた女性は、「安倍さんは独裁者。政府にシッポを振る一部のマスコミもおかしい。自民党の一党支配を早く終わらせてほしい」と語気を強めました。

抗議の寄せ書きを安倍首相に

【群馬県前橋市 大利根九条の会】前

橋市の大利根九条の会は9月19日、第58回例会を大利根町公民館で開きました。

会員の書家・小倉釣雲氏が「戦争法案反対」と大書した布に、参加者全員が「戦争法は廃止」「民意踏みにじった自公政権に未来はない」「おかげで国民のたたかう力が強くなりました」など安倍首相への抗議の言葉を、怒りをこめて寄せ書きしました。

1枚は安倍首相に送りました。もう1枚は今後、チャンスあるたびに掲示します。

地方議会で抗議の意見書、声明

【岩手県議会】 県議会(定数48)は9月議会最終日の24日、安全保障関連法廃止を求める意見書を賛成多数で可決しました。

意見書は「国会審議を通じ、憲法違反の法律であることは明白。各種世論調査の結果は国民の理解解が得られていないことを示した」と批判。「憲法の根幹に関わる法律が、十分な審議を経ずに成立したことは極めて遺憾」と廃止を求めています。

賛成は、改革岩手(15人)、創成いわて(5人)、共産(3人)、社民(2人)、いわて県民クラブ(5人)人、無所属(2人)。反対は自民クラブ(13人)、公明(1人)、いわて県民クラブ(1人)。

【島根県大田市】 大田市議会は24日、戦争法の「撤廃」を求める意見書を賛成多数(11対8)で可決しました。

意見書は戦争法を「アジアと世界に不戦を誓った憲法9条を立法によって破壊し、戦後日本の国のあり方を根底から覆すもの」と批判。さらに、「『夏までに成立』させることを勝手に米国政府と約束するなど許されない」としています。

【宮城県大崎市議会】 宮城県大崎市の公明党を除く超党派13議員でつくる「国民合意のない安保関連法案をストップさせる大崎市議会議員の会」は19日、記者会見をおこない、戦争法案強行への抗議声明を発表し、街頭で訴えました。

会見で、加藤善市副代表が「緊急の役員会を開き抗議のアピールを出すことにした」と経過を報告。小沢和悦幹事長が、「大崎市議会の『十分な審議を求める意見書』は無残にも無視された。黙っているわけにはいかない」と説明しました。

街頭では、佐藤仁一代表ら8人が「私は自民党支持者だが、この法案はダメだ。議論を尽くさないやり方もひどい」「今日の未明から法案を実行させない新たなたたかいが始まった」などとアピールしました。

「九条の会」結成のたより

【福島県伊達市梁川町】 9条を守りたい人たちが今年7月、「梁川町9条の会」を結成しました。結成を記念して「2015やながわ平和のための戦争展」を9月12、13日の両日開きました。

展示品には町民から梁川町戦没者819人の名簿、出征軍人のたすきや千人針、特攻隊で亡くなった青年の遺品が寄せられました。

同会の須藤健さん(77)は、「『戦争はだめだ』という共感を広げたいと思います。『戦争法』は憲法の土台を壊すものです。安倍首相の野望を通させてはならない。人を殺してもいいということを認めるわけにはいきません。首相には命を大切にするという人間的なものが欠落していると思います。廃止までがんばります」と語っています。